

環境保全対策協議会

当社は、1979年より恵那市で営業を開始し、東濃地区のインフラ整備のソフト部門に携わってまいりました。測量設計とは、市民の皆様の生活基盤である、道路、河川、農地、森林等の整備を行うため、恵那土木事務所や恵那市役所等の地方公共団体より、国、県、市役所の施策に基づき業務が発注され、現地で地形測量・中心線測量・縦断測量・横断測量等を行い図面化します。それをもとに安全性、経済性、快適性等を検討し新設、改良計画を行います。また、現地で工事ができるよう、平面計画、縦断計画等を行い構造図面作成と工事数量を算出します。こうした利便性のある新しい道路や狭い道路を広くするための計画を作成する仕事です。さてそんな中、インフラ整備は多少の自然破壊を伴うものではありませんが、生活環境の面から考えれば、安全・安心なインフラ整備は必要なものであります、当社では、岐阜県自然共生工法研究会、フィッシュウェイサポーター、ロードプレイヤー等に参加し環境保全についての見識を高め、計画段階において環境に配慮した事業計画を実施するよう心がけてまいります。測量現場においては、自然環境保全のため、ごみ等の持ち帰りを徹底しております。今後も環境保全対策協議会の行事に積極的に参加し、各方面の方々のご意見をお聞きして、環境保全に務めてまいります。